

最近の主な犯罪と対策

<バイク・自転車盗難>

ラチェット式カッター（ハサミ）を使いバイク・自転車のロックを切り、車両を盗む手口です。



【対策】自転車は可能な限り駐輪場か、室内に入れるようにしましょう。バイクは簡単に切られにくいロックでしっかりと固定しましょう。盗難にあった際に警察に情報を伝えられるよう、自転車の写真を撮っておきましょう。



<ひったくり>

裏通りなどの人通りの少ない場所で待ち伏せて、突然、ショルダーバッグなどを奪う手口です。（小型バイクで近づき、ショルダーバッグやスマホを盗む手口も増えています。）

【対策】ショルダーバッグは「たすきがけ」を心掛け、人通りの少ない道は避けましょう。「歩きスマホ」などの「ながら歩き」はやめましょう。

<置き引き>

空港や駅で待っている時、ホテルでのチェックイン・チェックアウト時、観光地での写真撮影時、レストランで食事をしている時のほんの一瞬目を離した際に置いていた貴重品を盗む手口です。



【対策】荷物は常に視界内に置き、身体から離さないようにしましょう。食事の際には、ハンドバッグ等をイスにかけたり床に置いたりせず、荷物を置いたまま席を離れないようにしましょう。（席確保のために荷物を置くことは非常に危険です。）

<スリ>

話しかけたり、ぶつかったりして注意をそらした際に、バッグの中から財布やパスポートなどの貴重品を盗む手口です。

【対策】ハンドバッグやリュックは身体の正面に位置するようにして持ち歩きましょう。（リュックを背負っていてチャックを開けられ貴重品を盗まれるケースが増えています。）

<くしこいナンパや勧誘>

過去に日本に行ったことがあるなどと親しげに話しかけ、飲みに誘い、性犯罪の被害に遭うケースがあります。夜間の一人歩きは特に注意が必要です。



【対策】見知らぬ人や初対面の人の誘いには軽々しく乗らず、人気のない場所には決してついていかないようにしましょう。（※英国では催涙スプレーやスタンガンは自衛目的でも所持が禁止されています。）

<警察官詐欺（二人組での犯行が多い）>

二人組の一人が慣れ慣れしく話しかけ、会話をしている間に、もう一人（偽警察官）が麻薬調査等の理由で事情聴取を行い、身分証やクレジットカード、財布等の提出を求め、確認を名目にクレジットカードや現金を盗む手口です。

【対策】見知らぬ人物が近づいてきてもかわからないようにしましょう。警察官が、財布やクレジットカードの提示を求めたり、PINコード（暗証番号）を聞くことはありません。不審に感じた場合は、周囲の人に助けを求めてください。

<スキミングスリ>

スキマーと呼ばれるカードデータ読み取り機でクレジットカード情報を盗み、現金を引き出したり、高額商品を購入されたりする手口です。



【対策】ATMは可能な限り銀行店舗内のATMを利用してください。ATMや支払いカードリーダーでPINコード（暗証番号）を入力する際は、必ず財布や手で隠して見えないようにしましょう。カードを第三者に預けて会計をしないでください。

<違法薬物>

英国においては、違法な薬物の所持、販売ともに犯罪行為です。コカイン、ヘロイン、エクスタシー、大麻などがその一例です。

【対策】ナイトクラブや路上での薬物の購入や使用などを持ちかけられた場合は、すぐに拒否するようにしましょう。



<オンライン詐欺>



見知らぬ相手からのメールやSNSの会話を信じ、金銭や仮想通貨を騙し取られるケースが発生しています。

【対策】不用意に自分の個人情報（氏名、住所、メールアドレスなど）を相手に教えることは絶対にやめましょう。不審なメールなどに記載されたURLをクリックしたり、不用意にリンクをたどって怪しいサイトを閲覧してしまわないように心がけましょう。

<電話詐欺>

銀行員や警察になりすまし、口座情報等の個人情報を聞き出し、資金を別の口座に移動させるよう不正なアドバイスをして、口座資金を盗む手口です。



【対策】銀行員や警察が電話をかけ、送金や銀行口座の詳細を求めることは決してありません。少しでも疑わしい点があったり、何かを強要されていると感じたりした場合は、一旦電話を切り、その電話番号が正規のものかどうか確認してください。



<SMS（テキストメッセージ）詐欺>

行政機関のDVSA（ドライバー&ピークルスタンダードエージェンシー）になりすまし、違法駐車料金を支払うように催促する詐欺のテキストメッセージを送り、オンラインで不正な支払いを行わせる手口です。

【対策】駐車違反の罰金は、車両に直接または郵送でのみ課しており、オンラインで支払いを求めることはありません。このようなテキストメッセージを受け取った場合はすぐに削除するようにしましょう。必要に応じて、警察（101）に相談してみましょう。

日本人滞在者の皆様へ

エディンバラへようこそ

～安全快適に滞在するために～



観光やビジネス、留学等でエディンバラを訪れる日本人が多い中で、短期滞在者のみならず、当地での生活に慣れている長期滞在者でさえ窃盗、強盗等の犯罪に巻き込まれるケースも少なくありません。

しかし、その手口は比較的パターン化しており、日頃から注意を怠らずに意識を傾けていれば、かなり予防することができます。

皆様がエディンバラで犯罪被害に遭わずに、思い出に残るよいご滞在となりますよう、このパンフレットを作りました。是非ご活用ください。

在エディンバラ日本国総領事館

犯罪被害に遭ってしまったら・・・

救急車・警察・消防・海保
999（無料番号）

- けがをされていませんか？
救急車（☎999）を呼ぶか、周りの人に助けを求めましょう。
- 警察署（Police Scotland）に被害届を出されましたか？
緊急でない場合：☎101に連絡し被害情報を通報しましょう。
- クレジットカードなどを盗まれた場合、利用停止の連絡をされましたか？
- パスポートを盗まれた場合、何らかの援護が必要な場合領事館に連絡して、必要なアドバイスを受けましょう。

※オンライン落とし物届：

<https://www.scotland.police.uk/secureforms/lost-property/>

Police Scotland

■■主な警察署■■

St. Leonard's Police Station
14 St. Leonards Street,
Edinburgh EH8 9QW

Gayfield Square Police Station
2 Gayfield Square,
Edinburgh, EH1 3NW

West End Police Station
3-5 Torphichen Place, Edinburgh,
EH3 8DY



★★パスポート作成に必要な書類★★

- 警察発行の盗難証明
- 6か月以内に取得した戸籍謄本の原本
※パスポート申請の際は、戸籍謄本の原本を日本から郵送する必要があります。
- 日本のパスポート用写真 2枚
過去6ヶ月以内に撮影されたもの、縦45mm x 横35mm、顔の寸法34±2mm、無帽で正面を向いたもの。
※イギリスのパスポート写真と同じサイズです。
※ 総領事館の近くでは次のところでパスポート用写真を撮ることができます。
[Boots]
46-48 handwick Pl, Edinburgh, EH2 4SA
[Timpson's]
26 Queensferry Street, Edinburgh, EH2 4QS
[Haymarket Station]
Edinburgh EH12 5EY
- ご帰国フライトのE チケット写し
※「帰国のための渡航書」申請の場合のみ必要。



ご不明点は総領事館までお問い合わせください。

総領事館の連絡先

在エディンバラ日本国総領事館
Consulate General of Japan in Edinburgh
住所：2 Melville Crescent, EH3 7HW
電話：0131-225-4777
領事部メールアドレス: ryoji@ed.mofa.go.jp